

アグリ

ワーク

ポイント



果樹林産センター 鈴木 大造

生理落果期の 管理

生理落下

温州みかんは生理落果期を迎えます。この時期の樹体の栄養状態と天候が、今後の着果や果実生育、品質に影響を及ぼしますので、適切な肥培管理・病害虫防除が重要です。生理落果は、幼果と新梢の栄養分の奪い合いによって引き起こされます。早く新梢を緑化させることで、生理落果の抑制に繋がります。

着果の多い樹

翌年の着花確保を目的に、生理落果終期より早期摘果に取り組みましょう。青島のように大玉となりやすい品種では、「樹冠上部摘果」や「枝別全摘果」で肥大を抑えながら結果母枝を確保します。

着果の少ない樹

品質向上効果の高い後期摘果を主体とし、新梢の芽かき・摘芯を行い、発育枝や被さり枝の剪除をしてください。

葉面散布

着果の多い樹は樹勢維持・回復を目的に、**着果の少ない樹**は早期緑化により生理落果軽減を目的に、尿素500倍を5〜7日置きに3回程度散布しましょう。

夏肥

新葉が緑化するにつれ、根の活動が活発になります。地温も上昇するため吸収効率が良く、今後ミカンの樹には品質向上にむけてストレスをかけるので、樹勢維持や糖酸の蓄積を図るための重要な施肥となっています。

- ・ 早生温州 5月下旬

ダブルクイック668 40kg/10a

- ・ 青島温州 6月上旬 みかん化成1号 60kg/10a

病害虫防除

6月から黒点病・チャノキイロアザミウマの防除を行います。黒点病は、防除後30日を経過するか累積降雨量が250mmになった時点で再防除を行います。管内の各地点の降雨量はJAのホームページからでも調べることができます。また、薬剤防除だけでなく伝染源となる枯れ枝の除去も行ってください。

- 6月上旬

黒点病

エムダイファー水和剤 600倍 (60日×2回)

- ・ チャノキイロアザミウマ、カイガラムシ類

アクタラ顆粒水溶剤 2000倍 (14日×3回)